

平成30年5月28日

議会報告会報告書

議会広報公聴特別委員会委員長 様

議会報告会 4班  
班長 中村 彰男  
徳増 記代子  
秋間 高義  
青野 直  
楠山 栄子  
阿部 治正  
笠原 久恵

私の班は議会報告会を開催し、その概要は下記のとおりでしたので、ご報告します。

記

- 1 日時 平成30年5月13日(日)  
9時30分～11時30分 (開場 9時 20分)
- 2 場所 南流山センター 1階会議室
- 3 欠席議員 なし
- 4 来場者数 市民来場者数 13名  
議員 1名  
議会事務局 1名
- 5 報告内容
  - ① 平成30年度予算について
  - ② 南部地域における地域課題
  - ③ けやき道路、木地区と松戸市を連絡する道路と新橋について

## 市民との意見交換

Q(市民): 国の予算では借金がどんどん増えています。流山南部地域は特に人口が増えていて、順調のように見えるが、支出も多いと思うので、人口が増えているからと言って、支出も把握しないとイケない。借金はどれぐらいありますか。

A(議員): 自治体の場合、借金と一言では言えないが、公債費で言えば、40億円です。国の基準を十分に満たしています。

A(議員): 県、国から指摘を受けることもなく、流山市の財政は評価されています。毎年、借金はしても全額、返済しています。

Q(市民): 資料にある家計簿の中には、都市計画税、固定資産税というのがあり、私も払っています。そうした税金が、どのように使われているのですか？それぞれ目的別に使われているのですか。

A(議員): 県から補助金が出る特定財源は目的別に使われるようになっています。

Q(市民): けやき通りは、我々には関係ないのに、お金は誰が出すのですか。地域では、そういうのは通さなくてもいいと断った経緯があったので、そういう声も配慮して進めてほしいです。

A(議員): 要望として受け止めます。

Q(市民): 議員の説明では、南部地域は自治会加入率が低いという説明がありましたが、お店、商店、マンション等が加入率が低く、それが全体の加入率の低さにつながっていると思います。一方で、鱈ヶ崎は80~90%の加入率を誇り、結束力が強い。しっかり調査し、ここは加入率がいい、ここはわるいと決めつけないでください。また、ワンルームが増えているのも加入率の悪さにつながっていると思います。また、所有者に一律に加入を強制してはどうでしょうか。

A(議員): 自治会は自治という壁があり、行政や議会は介入できません。ご理解ください。

Q(市民): この地域には南流山センター以外、高齢者施設が足りない一方、児童、学校の要望は強い。みんな、目がおおたかの森地域に向いています。しかし、(若

い) 人口は2割ぐらいです。流山に住む人間として、市全体の要望に目をむけてほしい。この地域では、高齢者施設をもっと増やしてほしい。

A (議員) : この地域には3か所ほど、高齢者ふれあいの家もあります。そういうところの活用もぜひお考えください。

Q (市民) : 老人のために循環バスを通してもらいましたが、地域のつくってほしいルートを外しています。地域にはマンション二つできて、そこをどうしても通さないといけないらしいのですが、地元の要望をもっといれてほしいです。

A (議員) : ご理解できます。要望をお伝えします。

Q (市民) : 鰯ヶ崎団地では自治会の入会率は高いが、孤独死が発生しています。最近では4名、孤独死で亡くなっています。小規模多機能介護施設とかできてはいますが、居宅介護が増え、認知症者も増えています。私は民生委員をしていますが、認知症を隠すご家族もいて、地域で認知症をどう支えていけばいいのでしょうか。

A (議員) : 日常の見守りとして、支えあい条例を市と協力して作りました。高齢者問題対策としては、地域包括支援センターに力を入れ、また、小規模の高齢者施設を市内にはりめぐらせるようにしています。地域の高齢者対応を今後も考えていきます。

Q (市民) : 新橋について、どういう状況か、開通予定はいつか、また、有料か教えてください。

A (議員) : 4車線分の用地買収をしています。今回は、2車線で有料の方向で進めております。県会議員の武田正光議員には県議会でも何十回となく一般質問をしていただきました。なお開通は10年後とされております。最近、近辺の道路の渋滞が激しい。インター出て茂呂神社、佐久間タイヤ、T字路 宮園から南流山など、交通が激しく、流山市の渋滞緩和のため、一日でも早く新橋完成が待たれます。

Q (市民) : 自民党のチラシを見ました。市長もとんでもないことをしました。議会軽視も甚だしい。議会の承認を得ずに、先決したのですから。

Q（市民）：マンションができ 人口が増え 災害の指導はどのようにされていますか。災害時の備蓄についてもご説明いただきたいです。

A（議員）：災害時の備蓄については、市のホームページに載っていますが、かなりの数の備蓄倉庫が載せられています。備蓄については、調査をしておいて、各備蓄倉庫の割合を調べ、均等に配置されるよう再配置を行っていただきました。備蓄量は年々増えています。

Q（市民）：難病指定が300疾病指定され、結果、難病見舞金が削減されています。市内の難病者の人数は増えておらず、市の支出にはまったく影響していないのに年一回2万5000円に削減されました。

A（議員）：難病者の方の数は多くいらっしゃいます。見舞金については、申請するときも申請費用が多くかかります。検討したいと思います。

A（議員）：障がい者の福祉手当について、知的、身体、精神の障がい者を一括して考えています。基本は自助努力で、軽度6900円から手当が出されています。検討したいと思います。

Q（市民）：市役所に無駄遣いはないのかと疑問に思います。市の特別職には地域手当などがついているのに。

Q（市民）：重度障がい者医療助成制度は役所内部で対応がとれないのですか。

A（議員）：福祉課、障害支援課でおたずねいただければと思います。

以上

所感

中村彰男

本日はご参加いただき、誠にありがとうございました。熱心な質問質疑、感謝申し上げます。なお、議会報告会は年2回ですが、議会定例会は年4回あります。一般質問は議員から貴重な意見を述べる機会です。ぜひとも議会棟に足を運んで議員はどんな発言をしているのか、ご覧いただきたいと思います。

青野直

地域課題については、もう少し具体的に報告できるように委員会として工夫をする必要があると感じました

30年度予算をはじめ、南流山自治会への加入率の問題等課題も多くありますので、今後の課題として、真剣に検討していきたいと考えております。

秋間高義

今回の議会報告会は、市民に身近な道路や新橋に関する問題をテーマに取り上げたこともあり、参加者から様々なご意見やご要望をいただくことができました。今後も皆様のご意見やご要望を市政に反映すべく努力してまいります。

徳増記代子

予算に対する質問や高齢者対策では孤独死対策の取り組みをもっと強めてほしい。また、特定疾病療養見舞金制度、自治会への加入問題、また、ほしいルートにバスが通っていないなど、切実で、多岐にわたる意見を聞くことができた。少しでも改善できればと思う。

楠山栄子

参加する市民の方々はまだまだ少ないですが、以前と比べ少しずつ定着してきた感じがします。また、一方的な意見の主張が見かけますが、これもまた以前と比べ、議員と市民の対話が進むようになったと感じます。継続は力なりです。続けましょう。

阿部治正

今回の議会報告会は、参加者は必ずしも多くはありませんが、市民の皆さんから活発な意見が出されました。参加された皆さんの声は、議会に対する素朴で率直な質問、行政や議会の至らぬ部分に対する厳しい指弾、その至らぬところを認識した上での生産的な提案等々、多様な角度からの多様な内容を含むものでした。こうした意見を聞くことができ、また市民と議員の双方の意見交換をできることこそが議会報告会の意義だと感じました。議員の側から見て無難な内容の議会報告会ではあまり意味はなし。今後もさらに刺激的で有意義な議会報告会にしていければと思います。

笠原久恵

今回の議会報告会の参加者（市民）が13人と多くはありませんが、定着してき

ていると感じました。自治会の加入率の課題や障害者の方のご意見など貴重なご意見もたくさんいただきました。改善できるか検討していきたいと思います。議会報告会が多数市民の方々にご参加いただき、さらに充実したものになるよう努力したいと思います。